

初期教材用 教案 (まぎらわしい音)

【 センシティ土曜にほんご学級】

【 教案・カードの枚数・授業時間(15分～30分程度)は各教室の状況に合わせて実施してください。】

学習目標：まぎらわしい音が正しく、発話・表記できる。		
教材(カード)	活動内容	留意点
おばあさん おばさん おじいさん おじさん びょういん びょういん ねこ ねっこ ふくろ ふくろう にんぎょう にんぎょ キウイ きゅうり ビル ビール ちず チーズ	T：「これは なに？」 カードです。 この人は誰ですか。 S：おばあさんです。 T：はい、そうです。 「おばあさん」。どうぞ。 S S：おばあさん T：この人はおかあさんのきょうだい です。何と言いますか。 S：おばさんです。 T：はい、そうです。「おばさん」。 どうぞ。 (順次聞いていく。) ： T：字を書きます。 △△さん、どうぞ。 紙に書きます。 T：△△さん、読んでください。 △△：□□□ T：いいですか。 S S：はい、いいです。 ： T：私は字のカードを貼ります。 皆さんは絵のカードを貼ります。 (全部貼り終えたところで) T：いいですか。 S S：はい、いいです。 T：みんなで読みます。 T：今日の勉強はこれで終わります。	板書し、発話する。 カードの束を示し、「カード」の語を入れる。 ホワイトボードに1枚ずつ絵カードを貼る。 学習者に発話を促す。丁寧に発音の指導をする。(拍や○○を使って指導) 絵カードの隣に字カードを貼る。キューで一斉に発話させる。 書く練習の前に、字カードをはずす。 指名された学習者は前に出て書く。他の学習者にはワークシートに書かせる。 発音と表記を確認する。正確な発音ができるように練習させる。全員にも発話させる。表記に間違いがあった場合は訂正する。(正しいカードを貼る。) 字カードをすべて貼る。 学習者に絵カードを貼らせる。 アトランダムに絵を指してコーラス・個人で発話させる。
<カードを使ったゲーム> ①絵カードだけを場に置く。先生、または生徒の一人が字カードを読み上げ、場のカードを取る。 ②字カードだけを場に置く。先生が黙って絵カードを生徒に示す。生徒は場の字カードを正しく発話してから取る。 ③神経衰弱ゲーム 絵カード、字カードともに裏にして場に置く。字カードをめくって2枚を合わせる。		